

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年06月03日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県御殿場市新橋669-38

氏名 株式会社 寿組

勝又 美智子

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0550 - 70 - 1500

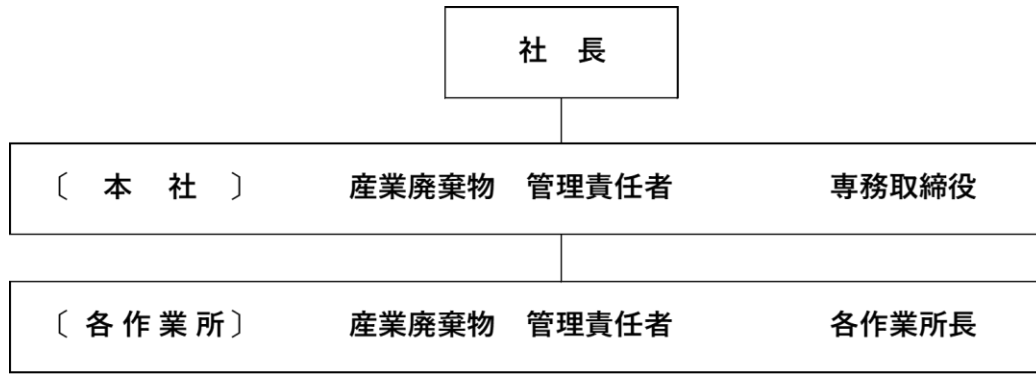
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 寿組																	
事業場の所在地	静岡県	御殿場市	669-38															
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31																	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																		
① 事業の種類	総合工事業																	
② 事業の規模	完工高：46,000万円																	
③ 従業員数	12人																	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><thead><tr><th>廃棄物の種類</th><th>中間処理 (委託処分)</th><th>最終処分</th></tr></thead><tbody><tr><td>がれき類 (コンクリート・アスベスト)</td><td>破碎</td><td>再生資源</td></tr><tr><td>木くず</td><td>破碎</td><td>再生資源</td></tr><tr><td>建設混合廃棄物</td><td>選別/破碎</td><td>埋立処分</td></tr><tr><td>廃プラスチック</td><td>選別/破碎</td><td>埋立処分</td></tr></tbody></table>			廃棄物の種類	中間処理 (委託処分)	最終処分	がれき類 (コンクリート・アスベスト)	破碎	再生資源	木くず	破碎	再生資源	建設混合廃棄物	選別/破碎	埋立処分	廃プラスチック	選別/破碎	埋立処分
廃棄物の種類	中間処理 (委託処分)	最終処分																
がれき類 (コンクリート・アスベスト)	破碎	再生資源																
木くず	破碎	再生資源																
建設混合廃棄物	選別/破碎	埋立処分																
廃プラスチック	選別/破碎	埋立処分																

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	コンクリート破片	723.000 t
	アスファルト・コンクリート破片	342.000 t
	(これまでに実施した取組) 受注工事の規模により廃棄物排出量に変動があり、一概に削減を目標とする事は難しかったが、各作業所において産廃発生量抑制に努力していた。材料の購入に際し、無駄のないように調達していた。再生資源利用計画に基づき分別、廃棄物処分業者へ搬出し、廃棄物の再利用化に努めていた。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	コンクリート破片	600.000 t
	アスファルト・コンクリート破片	260.000 t
	(今後実施する予定の取組) 受注工事の規模により廃棄物排出量に変動があり、一概に削減を目標とする事は難しいが、各作業所において産廃発生量抑制に努める。材料の購入に際し、無駄のないように計画する。再生資源利用計画に基づき分別、廃棄物処分業者へ搬出し、廃棄物の再利用化に努めていく。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物について出来る限り分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組をより一層努力していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	コンクリート破片	723.000	0.000	0.000	0.000	723.000
	アスファルト・コンクリート破片	342.000	0.000	0.000	0.000	342.000
	(これまでに実施した取組) 工事現場で発生する全ての廃棄物を適正な処分業者へ委託処理する。 リサイクルに努めると共に優良認定処分業者への委託を推進する。					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	コンクリート破片	600.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	アスファルト・コンクリート破片	260.000	0.000	0.000	0.000	0.000
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>工事の受注量、種類により発生する廃棄物の変動するため、種類、量は未定であるが、処分業者の選定には優良認定処理業者、及び再生利用業者への委託を推進する。</p>						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。